バイオ医薬品とは?

バイオシミラーとは?

Q 今までの薬とどう違うの?

今までの薬は、主に薬品を化学反応させてつくられていましたが、バイオ医薬品は、細胞や微生物などの生物の力を利用してつくられる、タンパク質を有効成分(治療効果がある成分)とする新しい薬です。

タンパク質は複雑な構造をしているため、薬品を化学反応させてつくることは困難です。そこで、生物が持つタンパク質をつくる力を利用して、病気の治療に効果的なタンパク質をつくり、薬としたものがバイオ医薬品です。

Q どんな病気に使えるの?

糖尿病の治療に使われるインスリン、がんやリウマチの治療に使われる抗体医薬品など、バイオ医薬品には様々な種類があります。

今までは治療が難しかった病気にも効果が期待されており、急速に開発が進められています。

バイオ医薬品が治療に使われる病気

- ●がん
- ●糖尿病
- ●関節リウマチ

- ●乾癬
- ●腎性貧血
- 貧血
- ●血友病
- 炎症性腸疾患● 多発性硬化症

など

Q どうやって製造されるの?

制御が難しい生物の力で複雑な構造のタンパク質をつくるため、バイオ医薬品は、高度な技術や大規模な設備を用いて製造されています。また、品質を確かめるために、今までの薬よりも多くの試験を行う必要もあります。こうしたことから、バイオ医薬品の値段は、多くの薬よりも高くなっています。

バイオ医薬品を製造している様子



写真提供:協和発酵キリン株式会社

Q バイオシミラーって何?

新しく開発された薬には特許がありますが、 特許期間が終了した後は、他の製薬会社から も、同じように使える薬が発売されます。

バイオシミラーは、バイオ医薬品の特許が 切れた後に、他の製薬会社から発売される薬 で、**特許が切れた薬と同じように使うことが** できます。

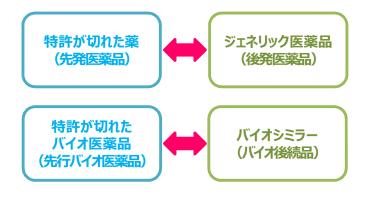


Q バイオシミラーの値段は?

バイオシミラーは原則として、特許が切れたバイオ医薬品の70%の値段になります。 そのため、患者・家族の経済的な負担の 軽減につながることが期待されています。

Q バイオシミラー = ジェネリック?

特許が切れた後に発売される薬として、「ジェネリック医薬品」が知られています。 バイオシミラーも同様の位置づけの薬ですが、 ジェネリック医薬品とは、区別して扱われています。



ジェネリック医薬品は、薬品を化学反応させてつくる薬で、特許が切れた薬と同じ有効成分を同じ量含んでいます。一方、バイオシミラーは、複雑なタンパク質を有効成分とするため、特許が切れた薬と全く同じものをつくることが困難です。

そこでバイオシミラーは、**構造にわずかな 違いがあっても、有効性や安全性は同等である**ことを確かめるようにしています。そのためには、非常に多くの試験を行う必要があることから、このような違いを踏まえた制度で取り扱われています。

バイオ医薬品やバイオシミラー、 ジェネリック医薬品について もっと詳しく知りたい方は、以下もご覧ください

- ■厚生労働省 バイオ医薬品・バイオシミラー講習会ページ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000132762 00005.html
- ■**厚生労働省 ジェネリック医薬品広報資料ページ** https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/ bunya/kenkou iryou/iryou/kouhatu-iyaku/01.html
- ■**国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部** http://www.nihs.go.jp/dbcb/
- ■**一般社団法人くすりの適正使用協議会**https://www.rad-ar.or.jp
 患者・一般の方向け冊子『バイオ医薬品ってどんなもの?』 公開中

薬について相談をしたい方は 以下にお問い合わせください

■独立行政法人医薬品医療機器総合機構 くすり相談窓口

電話: 03-3506-9457

受付時間:月曜~金曜 (祝日・年末年始を除く) 9時~17時

バイオ医薬品・バイオシミラーを 正しく理解していただくために (患者・一般の方向け)

> 平成31年2月 厚生労働省医政局経済課